

会 長 メ モ

会長 宇田川 功

1. 生徒理科研究発表会 1月25日(土)、26日(日) 9:30~
会場 日本化学会 化学会館7階ホール他
2日間にわたって、全部で25の発表があります。ぜひご参加ください。
生徒を引率しての見学も可能。
運営の研究部の先生方、審査、講評をお願いしました先生方よろしくお願ひいたします。
2. 都中理研究会誌 編集 よろしくお願ひいたします。
原稿がまだのところはご協力お願ひいたします。
3. 都中学生の科学コンテスト(都教委主催) <都中理会長も運営委員の一人>
今年度の経過
東京からは国公立51校、108チームが出場。
全国大会への東京代表は、都立武蔵高等学校附属中学校、都立大泉高等学校附属中学校
都中理から12名の当日支援。
来年度以降について
・理科教育振興のためにも参加校をもっと増やす方向で考えたい。そのための策は?
ただし1校からの参加チーム数には制限が必要か?
・全国大会への臨み方について。
4. 科学の甲子園ジュニア全国大会 12月21日(土)、22日(日)
主催: JST、 共催: 全中理
今年度の経過
・都中理より競技支援員25名 (その他 問題作成等に関わった人もいる。)
・東京代表は入賞できず。
来年度以降について
・しばらく東京開催が続く予定。都中理からの支援は必要と思われる。
・来年度の開催は今のところ11月下旬か12月上旬予定とのこと。
5. 外部機関からいただいた研修会の提案
・「正しく理解する放射線」教員研修
(公社) 日本アイソトープ協会
(独) 理化学研究所 仁科加速器研究センター
プログラム例 講義「放射線とは何か」「放射線リスクと健康影響」
実験「放射線の特徴を理解する」講演「仁科加速器の概要と利用について」
施設見学 仁科加速器研究センター 9:30~16:30

6. 外部機関（各種研究施設、大学、企業等）との連携について

ケース1 外部機関からの提案 → 学校教育現場で活用

ケース2 学校からの要望 → 企業等とコラボ

○(株) キャリアリンク 教育コンサルティングが業務

学校と企業をつなぎ、教科書だけでは実現できない実社会に結びついたキャリア教育をサポートします。(HPより、団体理念・コンセプト)

理科、社会、(生活科)、総合、家庭科、保体、道徳、特別活動等

企業の持つ様々な教育的リソースを活かし、多様なテーマの教育プログラム提供をめざす。

・教員研修・教員向けフォーラム・出張授業・教材提供・工場見学 など

例・東レ 「水のろ過と地球環境」を考えるプログラム (出張授業、教材提供)

・パナソニック (教員研修、教材提供)

これからのエネルギーと暮らしについて考える環境・エネルギー教育プログラム

・積水ハウス 緑の専門家と一緒に、緑と生き物の関わりについて考える

“Dr. フォレストの環境教育プログラム”(教員研修、出張授業、教材提供)

・積水化学 「住宅」「化学」「医療」がテーマの教育支援プログラム (出張授業)

*** 学校現場の様々な要望を聞きたい。→ 企業とのコーディネート、プログラム開発**

○次世代育成オフィス (東京大学生産技術研究所)

次世代の理工系人材の層を厚くしていくために、青少年を対象に工学や最先端技術の魅力を伝え、興味や関心を喚起するために、東大生産技術研究所が設置した。産学が共同して次世代の研究者、技術者を育成する教育活動・アウトリーチ活動の新しいモデルを創り出すことが目的。(キャンパス公開、出張授業)

・青少年に科学技術への興味関心を喚起

社会と科学技術の結びつきを知ることで、理工系分野への興味関心を喚起します。

・企業や大学を知る機会の提供

企業や大学が何をしているのかを理解することができます。

・社会に根付いた知の習得

社会で実際に使われている技術を知り、また関連する教材に触れることで実践的に知を習得することができます。

例 出張授業

「車輪のしくみを見てみよう」 高崎市立高崎経済大学付属高校

「持続可能社会とものづくり」 埼玉県立浦和第一女子高校

「環境問題」 東京都立小山台高校

貸出教材

・金属・材料を調べてみよう

・車輪のしくみを調べてみよう

7. その他 平成27年度 全中理富山大会 東京の発表 教育課程、学習指導、環境教育